

# 広報 しんじょう

12  
2008

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.612



冬をたのしむママと子のおうち講座(11月16日/市民プラザ)

**考えよう、未来のまちづくり**……………2

**事務事業の評価結果**……………4

**協働企画提案事業の実施状況**……………6

市県民税の住宅ローン控除……………8

いきいき新庄人・市民団体・企業……………9

しんじょう見聞録……………10

12月のお知らせ……………12

近岡善次郎画伯寄贈絵画・Ⅱ期展……………14

## 市の木[モミ]



昭和59年の市制施行35周年を記念して市民アンケートから選ばれたもの。新庄の大地に深く根を張り、一直線にそびえるモミの姿は、未来に躍進する新庄の希望と愛情を表す。

新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>  
E-mail [info@city.shinjo.yamagata.jp](mailto:info@city.shinjo.yamagata.jp)



# 考えよう、 未来のまちづくり

市は、市町村合併に向け市民の皆さんのご意見をお聞きし、今後の合併協議に役立てていくため、十一月二十二日から市民プラザなどで「市町村合併市民懇談会」を六回開催しました。今回は、市民懇談会でいただいた意見や質問などを紹介します。



## 最上は一つ

- 合併には大賛成。四市町村だけでなく八市町村で一つになるような取り組みをやつてもらいたい。
- 都会と地方の格差が拡大する中、合併もしないでどうするのか。国からお願いされるのではないかと。八市町村でまとめることが望ましい。

## 合併後のまちづくりへの提案

- この地域で最も重要な農業を育成し、活力のある農産物をつくることが大仕事だと思う。
- 農業と観光は一体であるべき。おいしい産地の料理講習など行っているが、消費者には届いていない。行政のきめの細かい観光指導が必要である。
- 将来を見越してNPO活動などの人材養成に手をつけてもらいたい。
- 地元企業を行政がいかにバックアップできるかが鍵である。

## 市町村合併への市長の思い

### 市と町村は共存共栄

町村の人たちは、市内の工業団地などで働いていたり、市内のスーパーで買い物をしたりするなど、その生活圏は行政の枠を越えています。また、新庄・最上地域から三十年間で一万九千人が離れていきましたが、市は三千人しか減っていません。市の人口減少率が少ないのは、町村の人たちが市に移り住んできているからです。市の経済は、町村の人々で支えられている面もあり、市と町村は共存共栄の関係にあるといえます。このような新庄・最上地域の現状からも、行政は住民の生活に合った新たな枠組みをつくること、が求められているのではないのでしょうか。

### まちづくりを進めるための財源確保

まちづくりを進めるために最も必要なものは「財源」です。財源がなければ事業を執行することができません。国は、地方交付税を減



らし、地方分権を推進しています。こうした国の動向に対応し、新合併特例法による財政支援措置を活用しながらまちづくりを進めていきます。

### 輝くまちづくり

合併をしても行政のスリム化をなお一層図り、地域に住む人たちの安心・安全を最優先に考え、住民のみなさんを守っていかなければいけません。行政を一つにして安全で安心な地域をつくるための合併です。

市民のみなさん、町村のみなさんと知恵を出し合いながら、新庄・最上が輝く地域にしていきたいと思えます。



- 将来ビジョンに子どもたちが夢を持って住めるようなビジョンを盛り込んでもらいたい。
- 合併することで、地域の歴史、文化、伝統などが守っていけるの心配だった。しかし、今日、話を聞いて、それらを守っていく子どもたちを育てていくことが、わたしたちの世代がやるべきことだと感じた。
- 地域の活性化を図るには、観光における交流人口の拡大が必要であり、人口増と同じ効果がある。この地域は自然の観光資源が豊富だが、市町村で対応がばらばらで地域の資源が生かしきれていない。
- 観光客から二〜三時間くらい観光があれば相談される。新庄駅周辺に毎日源泉が違う足湯などはどうかと思った。合併してつながりを強化すれば容易に実現できるのでは。

## 合併への不安など

- 周辺地域は職員減を前提にしないで、地域のことを知っている職員を十分に生かしていくべきである。
- 職員の数も増えるので、今よりも一歩進んで、工夫した行政サービスを提供してほしい。
- 合併すれば膨大な面積の掌握が必要。災害地区住民を中心部に代替移住させた例もあり、将来的に居住の集約化を図ってはどうか。
- 合併賛成。最上地域は疲弊、衰亡、衰退している。このままでは若い人材は流出していくだけである。
- 小規模経営で成り立っていた時代は終わり、合併すると商店でも農業でも、ますます大型化・マンモス化して大型店が入ってくるのではないかと。
- 仕事で庄内に行っているが、三十分という距離は広く感じる。交通弱者の存在や町村がさびれていくと感じた。
- 八向村では本合海に役場があったが今はこういう状況。いずれはこうなることを町村は危惧しているのでは。
- 合併賛成だが、周辺部の過疎化に拍車がかかるのでは。昼間の周辺地域さびれる。周辺の施設をどう効率的に使うか。人を減らすだけではうまくいかない。



- 少子高齢化だと国民健康保険の運営が大変だ。合併したら国保税の負担はどうなるのか。
- 合併した場合、中学校のALT（英語助手）が減るのではないかと。
- 私道の除雪をしてもらっているが、合併すればきめ細かい除雪がしてもらえなくなるのではないかと。
- 稲舟村が合併したとき支所があったがなくなった。最初は不便だったが、時間がたつにつれて解消された。市はまわりの町村や各地域に芽生えたものを大切にしていってほしい。
- 合併先進地の話を聞くと、デメリットはあるが合併してよかったと聞いている。
- 合併の必要性は十分理解できる。町村の人たちに聞くと合併できない理由は、市の財政問題にあると言われる。

## 議会・最上広域

- 新市になったら議員は減るのか、基準はどうなのか。
- 合併したら区域は広範囲になる。議会の様子を映像などで公開して透明性を図ってほしい。
- 最上広域の事業や分担金は合併後も今のままか。最上広域をやめるのか。
- 合併して最上広域を残すのは経済効率がよくない。今後、解消する方向か、残す方向か。

## 情報公開・情報提供の促進

- 協定項目について、使用料や税金など、身近なものがどうなるか情報公開してほしい。
- 市民は個人レベルでどういう利益があるか知りたい。合併しない場合のデメリットもわかりやすく情報提供すべき。
- 懇談会を再度開催してもらいたい。任意協議会の内容は、市報などでくわしく報告してもらいたい。
- こんなに少ない参加者で住民の意思が確認できるのか。広報活動を徹底すべきである。

市町村合併に関する説明にうかがえます。町内会や団体など、希望があればご連絡ください。

◎ 詳しくは、政策経営課企画政策室へ。

☎ 内線 242

# 事務事業の評価結果について

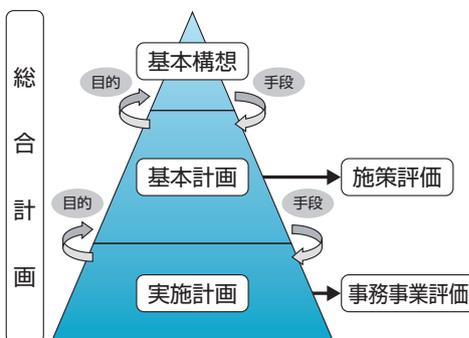
市は、平成十九年度に実施した事務事業のうち三百八十件について、実施状況を自己評価しました。評価した内容に応じて、二十年度以降の事務事業の継続・休止・終了・廃止の方向性を示してまいります。今年度実施した事務事業の評価結果をお知らせします。

## 行政評価システムとは

行政活動の目的を明確にし、活動の成果を数値化し評価する仕組みです。PDCAマネジメントサイクル(PLAN(計画)→DO(実践)→CHECK(評価)→ACTION(改善))を行政活動に組み入れることで、行政の意思決定から評価・改善に至る経過を明らかにし、行政運営を「経営」という視点から見直し、事業の質の改善を図ります。あわせて、評価結果を公表することで行政の透明性を高めるとともに、市民とのパートナーシップづくりに役立っています。

行政評価には、第三次振興計画後期五箇年基本計画(計画期間18年度～22年度)の進行管理としての役割もあります。

振興計画の定める施策や事業の評価対象として「施策評価」や「事務事業評価」を実施し、それぞれの達成目標を的確に管理し、効果的な取り組みを進めていくことにより、振興計画を着実に推進していきます。



### 評価の対象

評価の対象となる事務事業を「独自事業」(市の裁量で実施している事業)、「法定事業」(法令などで義務付けられる事業)、「内部事業」(対象が市役所内部のみで市民サービスに直結しない事業)に分け、その事業をさらに「評価事業」(独自事業に該当し成果が表せる事業)と「説明事業」(法定事業・内部事業に該当し成果が表せない事業)に分けて評価しました。

### 評価の方法

市で実施している事務事業のうち、三百八十件の事務事業それぞれの業務内容に応じて一定の指標を用いて自己評価を行いました。評価方法としては、業績測定と項目別評価を実施しました。

#### ●業績測定

事務事業を実施した結果、得られた成果を機械的に数値化して評

価しました。

#### ●項目別評価

評価の視点を「必要性」(市が実施しなければならない事業か。また公共性があるか)、「貢献性」(政策、施策目的に合致しているか)、「妥当性」(実施手段や手法は適切か)の三つの視点から評価しました。

### 評価の主体

十九年度は、担当課の自己評価のほかに、「子育て支援の充実」や「消流雪用水の水源確保と流雪溝整備」など十一の重点施策に体系づけられている独自事業のうち「消流雪用水施設改修事業」など三十一件の事業について、市長、副市長、教育長および行政評価推進委員による第二次評価を実施しました。

目標に見合った成果が上げられたか、効率的に実施されたかを検証し、事業の改善や見直しを行い今後の方向性を確立しました。

## なぜ、行政評価が必要なのか？

市では、平成十五年度から市民サービスのさらなる向上を目指し、事業の目的や効果を評価・改善しながら効率的で効果的な行政運営を図るための「行政評価システム」を導入しています。

システムが導入された理由は、これまでは「行政の仕事をただ執行すること」に重点が置かれ、「仕事をした結果を評価し、次の仕事に反映させ、より適切な方法を検討・選択する」という事務事業効率や効果の面には必ずしも重点を置いてこなかったことにあります。

市の行財政運営が厳しさを増す中で、行政の仕事は、「だれ」のために「なに」を「どのように」したいのかと事務事業を個別に整理し、より力を入れていくもの、実施方法を改めるものなど、課題を明確にして事務事業の選択と集中を図る必要があります。そのため事務事業の妥当性を判断する客観的な尺度の一つとして「行政評価システム」を導入しました。

# 総合評価結果一覧表

## ■21年度に向けての方向性(評価結果)

事業数	説明事業	評価事業	内 訳					
			継 続			休 止	終 了	廃 止
			拡 大	現 行	縮 小			
380	125	255	45	199	3	2	4	2

## ■主な内訳

区分	事務事業名	担当課	区分	事務事業名	担当課
大 拡	協働推進事業	総務課	大 拡	消流雪用水施設改修事業	都市整備課
	広報広聴事業			除排雪事業	
	コミュニティ助成事業補助金活用事業	雪に強いまちづくり支援事業			
	地域情報課推進事業	道路維持管理事業			
	市民相談案内事業	公園管理事業			
	消費生活推進事業	公共下水道処理場維持管理事業		下水道課	
	次世代育成支援対策行動計画関連事業	公共下水道管渠維持管理事業			
	子育て支援センター事業	公共下水道使用料賦課・徴収事業			
	保育所管理運営事業	公共下水道管渠整備事業(汚水)			
	放課後児童健全育成事業(学童保育)	公共下水道汚水の有効利用事業			
	民間立保育所運営費補助事業	学校図書館図書整備事業		学校教育課	
	家庭児童相談事業	児童生徒の個別支援事業			
	わらすこ広場管理運営事業	学校のつばさ支援事業			
	ごみ集積器具購入費補助事業	安全安心通学プラン推進事業			
	優良子牛認定保留事業	最上広域教育研究センター分担金			
	やまがた園芸担い手チャレンジプラン支援事業費補助事業	家庭教育推進事業		生涯学習課	
	新庄市花き連絡協議会事業	市民活動支援事業			
	地産地消推進事業	TMO構想推進事業		商工観光課	
	情報発信事業	勤労者福祉対策補助事業			
	新庄まつり運営事業	職業能力開発推進事業			
陸羽東西線利用推進協議会関連事業	全国連句新庄大会開催事業	生涯学習課			
神室山避難小屋改築推進事業	標準小作料改訂事業				
新庄藩江戸家老事業	ふるさと農道緊急整備事業(県負担金・野中)	農林課			
新庄観光協会連携事業	市営ふるさと農道緊急整備事業(谷地小屋地区)				
物産開発交流推進事業	夢みらい支援事業	商工観光課			
新庄亀綾織伝承協会支援事業	沼田角沢線街路整備事業				
企業誘致対策事業	小規模作業所助成事業(心身障害)	福祉事務所			
河川維持管理事業	地域支援事業家族介護慰労金支給事業				

### ■用語の定義

拡大…予算・人員等事業規模を拡大して継続すべき事業／現行…現在と同等規模で実施すべき事業／縮小…手段・方法等の改善を図り、事業規模を縮小して継続すべき事業／休止…当分の間、休止すべき事業／終了…計画的な事業で19年度末に終了した事業／廃止…目的達成、必要性希薄により19年度末で廃止とした事業

## ご意見ご感想をお寄せください

より効率的・効果的な行政評価システムにするため、評価方法や評価結果についてご意見・ご感想をお寄せください。施策評価は、後日お知らせします。

◎政策経営課企画政策室 ☎内線242

eメール

kikaku@city.shinjo.yamagata.jp

**評価結果の活用と公表**

これからの行政運営は、予算をただ執行することが目的ではなく、経営感覚を取り入れ費用対効果を重要視しながら実施していかねばなりません。

行政評価は、行政に経営感覚を取り入れるために重要な手法であり、その結果を予算編成などの財政運営や職員の適正配置に反映させていきます。

また、評価結果は、ホームページや図書館、政策経営課内で公表しています。

今後も『行政評価システム』を改善しながら評価を充実させ、新たな躍進に向けた市政運営を推進していきたいと考えています。

# 一緒に考え、一緒に創る 元気なまち

## ～平成20年度協働企画提案事業～

市では、市民活動交流ひろば「ぶらっと」を総合窓口として、地域の中で困っていることの解決方法や新庄を住みよいまちにするための企画提案を広く募集しています。今年度、協働企画提案事業として5つの補助事業を採択しました。事業終了後は、事業の成果や行政との協働の状況などを協働評価委員が評価し、事業の成果を検証します。今回は、採択された協働企画提案事業の実施状況をお知らせします。

### 男性の家事・育児参画 フォトコンテスト

実施団体 LINKS(代表・早坂智佳子)／担当課 生涯学習課

#### ■事業内容

楽しく家事をしている男性(パパ・息子・おじいちゃんなど)の写真と一言コメントを募集して、作品をわらすこ広場に展示し、コンテストを実施しました。



優秀賞 ㊦㊦㊦@ママさん／新庄市

「休みの日は、子どもとべったりのパパです。パパと遊ぶ休日が娘には一番！かな…。ヘン顔？！ポーズもさすが親子。息がぴったりの？！かな」

#### ■事業の成果

わたしたちの団体は、男性が家事や育児に関わる機会を広げ、男女共同参画社会の実現を目指しています。



今回は、インターネットを活用して写真を募集したため、全国各地から応募がありました。男性の家事への関わりが地域によって異なり、新しい発見がありました。

#### ■担当課から

男女共同参画の具体例として、男性が家事・育児に取り組んでいる姿の写真を展示することによって、視覚的に理解してもらうことができたと感じています。

### 新庄と戦争

実施団体 NPO 新庄観光ガイド協議会(会長・長岡洋子)／担当課 総務課

#### ■事業内容

新庄市平和都市宣言(昭和五十九年三月二十六日制定)の意義を次の世代に伝えるため、協議会の会

員が小学校六年生の社会科授業に出向き、戦時中の体験を語り伝えました。その記録を冊子としてまとめる予定です。

#### ■事業の成果

現在の恵まれた生活からは考えられない第二次世界大戦当時の様子を小学生は真剣に聞いてくれました。平和の大切さを再確認してもらったことだと思います。

戦争体験者が高齢化しており、後世に残すには今しかないという思いを強く感じました。



#### 「秋野小六年生の声」戦争の話を

聞いて、今の時代が幸せだと思いましたが／世界の人々と戦争を起ささないよう考えていきたいです／この世から戦争が消えて、平和がある世界になってほしいです」

#### ■担当課から

戦争の体験を生々の声で子どもた

ちへ伝えることができ、また新庄市が平和都市宣言を行っていたことをこの機会に広く周知できました。このような事業は決して行政だけではできないことであり、総務課が会の方と学校をつなぐ役割を果たすことができたと思います。

## 妊娠・出産相談事業・わらすこまつり実施事業

**実施団体** NPO法人オープンハウスこんべいとう(理事長・川又真貴子)／担当課 健康課・福祉事務所

### ■事業内容

八月から三月まで毎月第三木曜日に、わらすこ広場内において助産師による妊娠・出産相談を開催し、妊娠・出産の悩み、育児相談、更年期などの相談に無料で応じています。

### ■事業の成果

わらすこ広場を活用することによって、乳幼児がいる人でも気軽に相談できます。専門的な知識を持つ助産師から応対してもらったことで、さまざまな悩みもわかりやすく説明を受けることができます。※「わらすこまつり」は一月と三月に実施する予定です。

### ■担当課から

初回の相談日に同席しましたが、助産師さんが丁寧に母親の話を聞き具体的にアドバイスしている姿

が印象的でした。これまでに、母乳のことや妊娠中の生活、第二子を出産した時の上の子との接し方などの相談がよせられています。

## 子育て支援セミナー “もっとほくを見つめて”

**実施団体** NPO法人くれよんはうす(代表理事・斎藤千恵子)／担当課 福祉事務所

### ■事業内容

十月十三日、山形親子療育支援ネットワーク代表理事 木村伸子さんを講師に「子育て支援セミナー」を開催。発達障がいの特徴について学び、本人や家庭のサポート、地域との連携や災害など緊急時の対応を考えました。

### ■事業の成果

障がいのある人が地域社会で一緒に生活していくために、障がいの



特質などを広く理解してもらおうとことができました。

【参加者の声】 発達障がいにもいろいろな行動や感情表現があること。笑顔を忘れずに声をかけること。大声を出さずにゆっくり話すこと。これそれあれこれなど抽象的な指示は伝わらないことを学ぶことができました。自分の孫におきかえ、いろいろ考えさせられました。

### ■担当課から

自閉症児など発達障がい児に対する正しい認識を促進することができたと思います。

民生委員など地域福祉に直接関係している人からも多数参加していただき、同じ自閉症児でもさまざまな行動特性があることを理解してもらうことができました。

## 子ども食体験教室講演会

**実施団体** Feel(代表・栗田裕子)／担当課 健康課

### ■事業内容

十月二十四日、「食べることが生きること」食を通して考える子どもの自立」と題した講演会(講師 食育・料理研究家 坂本廣子さん)を開催しました。

### ■事業の成果

人生は選択の繰り返し、その時

その時で何を選ぶかが分かれ道になってくる。判断の武器は「経験を伴った知識」であり、「ポブスレー親子」(大人がきれいにセットした道を子どもに進ませる)にならないよう自分の子育てを振り返ってもらうことができました。



【参加者の声】 子どもに体験・経験をさせることが大事だということ。親は口を出さず、見守ることが大切だということも学びました。今後の育児の参考になりました。

### ■担当課から

講演中に参加者が自分のことと重なり胸を熱くし涙していました。子どもの成長を願い、子育てをしながらも「子どものために自分でできること」そして「その子と共に育つことの大切さ」に気づくきっかけになったのではないのでしょうか。

# 市県民税の住宅ローン控除

～所得税から住宅ローン控除額を引ききれなかったときは?～

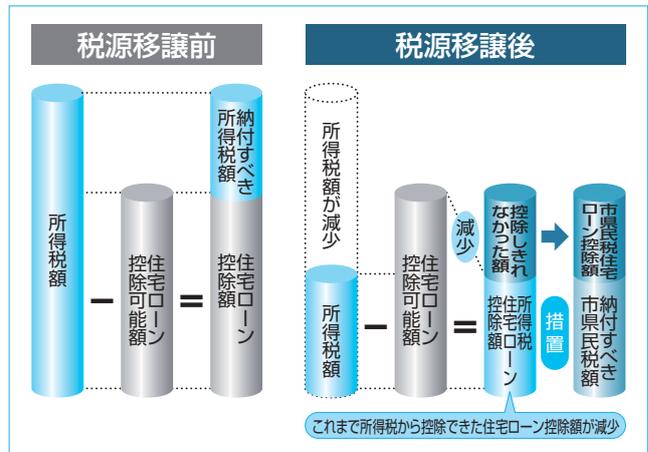
◎税務課課税室 ☎内線142・143

国から地方への税源移譲により、所得税が減額となり、控除できる住宅ローン控除額が減る場合があります。平成18年末までに入居し、所得税の住宅ローン控除を受けている人で、所得税から控除しきれなかった額がある場合は、市に「市県民税住宅借入金等特別税額控除」の申告をすることにより、翌年度の市県民税(所得割)から控除できます。

住民税の住宅ローン控除の適用を受ける人	「市県民税住宅借入金等特別税額控除申告書」の提出方法
所得税の確定申告をしない人 (給与所得者で事業所での年末調整で控除している人)	申告書に源泉徴収票を添付し市へ提出
所得税の確定申告をしている人	所得税の確定申告書とともに税務署へ提出

◆市県民税の住宅ローン控除の適用を受けるには毎年申告が必要です! 申告されない場合は控除できません。

申告期限は平成21年3月16日です



## ■申告書提出時の注意事項

●給与収入のみで所得税の確定申告書を提出しない人は、「21年度住民税住宅ローン控除申告書」(住民税専用/市役所で配布)と「20年分給与所得の源泉徴収票の原本」を一緒に提出してください。

## ■申告書の記入相談

●市では、所得税の確定申告時期に合わせて、市民文化会館で申告相談会を行っています。住民税住宅ローン控除の申告も、その会場で相談ください。

## ■申告書を作成するために

●総務省のホームページに「個人住民税の住宅ローン控除申告書作成ツール(エクセル様式)」が掲載されています。源泉徴収票などの必要書類があれば、どなたでも簡単に申告書を作成できます。市ホームページからも申告書作成ページにリンクをしていますのでご活用ください。

# 雪国のルールを守って快適に

◎都市整備課 ☎内線525～533

## 安全な雪下ろしを

- 屋根の雪は早めに下ろしましょう  
安全のため、積雪70cmになる前に雪を下ろしましょう。
- 作業中の安全対策  
作業中は、落下防止ロープを装着し、できるだけ複数で作業をしましょう。
- 雪下ろしは重量のバランスを考えて  
屋根の片側だけを集中的に下ろさないで、雪の重さが均等になるよう注意しましょう。
- 下ろした雪の排出  
下ろした雪は道路に出さず、運搬業者に依頼するなど適切に処理しましょう。
- 電線・電話線に気をつけて  
作業中の感電や、電線・電話線の破損に注意しましょう。

## 流雪溝の利用ルール

- 鉄筋の格子ふたは外さないでください  
流雪溝をつまらせないためにも、流雪溝の中にかけている鉄筋の格子ふたを外さないで利用してください。
- 流雪溝に機械での投雪はしないでください  
機械による投雪は絶対にしないでください。屋根の雪が流雪溝などに直接落下しないよう雪崩止めをしてください。
- 開けたふたは元に戻しましょう  
流雪溝に投雪し終わったら、流雪溝のふたを忘れずに閉めてください。ふたを開けているときは、危険防止のため、旗などの目印を立ててください。

## 市指定雪捨て場



■仁間地区/新庄市農協仁間倉庫脇河川 ■福宮地区/浄化センター西側敷地



■下田地区/下田地区内の升形川 ■泉田地区/泉田河川公園上流

※下田地区へは大型ダンプでの搬入はできません。また、住宅地なので、搬入する時間(午前8時30分～午後5時)を厳守してください。

## 都市公園を排雪場として利用される皆さんへ

- 大型機械などを使用して排雪したり、トラックやダンプなどで雪を持ち込んで捨てたりすることは禁止します。
- 近隣住民が公園に排雪する場合は、スノーダンプやソリなどで公園内の樹木や遊具を傷つけないよう注意してください。

いきいき  
新庄人

見る人に演劇の魅力と楽しさを

新庄演劇研究会  
伊藤 愛さん(宮内町)



「自分なりに工夫して役を演じながら、共演者と呼吸を合わせて物語をつくりあげることが一番の魅力です」と話す伊藤さんは、新庄演劇研究会の一員として役者や舞台製作、チラシづくりなどさまざまな活動をしています。

「わたしが演劇をはじめたのは高校時代から。新庄南高の新入生歓迎会での先輩たちの演技にあこがれ演劇部に入部しました。高校卒業後に、南高の恩師の誘いで新庄演劇研究会に入会しました。

演劇研究会は、昭和28年に創立した団体で、現在は新庄・最上地域在住の社会人約20人で構成されています。みんな仕事を持ちながらの活動なのでそろって練習できないなど苦労もありますが、幅広い年齢の人たちと一緒に作品をつくることも魅力のひとつです。

このたび、第42回定期公演「サイコロの責任」を開催し、現代病の特効薬を研究する博士役を演じました。研究に対する情熱と葛藤、人とのふれあいなどを表現しました。

これからも演劇の魅力と楽しさを伝えられるよう活動を続けていきたいと思えます。さらに多くの人たちと関わりながら作品をつくっていきたくです」と伊藤さんは、元気な笑顔で話してくれました。演劇研究会では会員を募集しています。一緒に活動しませんか?



▲第42回定期公演(11月15日/市民文化会館)  
◎新庄演劇研究会事務局・高山 ☎22-6701

いきいき  
市民団体

料理やレクリエーションで楽しく交流  
国際交流ボランティアグループ  
「すまいる」



▲中国出身の加藤真由美さんを講師に親子料理教室で手づくり餃子に挑戦

わたしたち国際交流ボランティアグループ「すまいる」は、市民プラザが主催した国際交流ボランティア養成講座(平成11年度〜14年度)に参加した受講生により結

成されたグループです。新庄市には現在、結婚・企業研修・留学などのため、約三百五十人の外国人が暮らしています。わたしたちは、その人たちが「この地域に来て良かった」と感じることができ、家族はもちろんだ、地域社会での相互理解を深め、コミュニケーションが図られるようサポートしています。

これまでの活動として、市内各医療機関の情報を英語・中国語・ハンダ語など五カ国語でまとめた地域情報紙「新庄まちナビ・お医者さん編」を発行したほか、日本語教室の受講生を対象にした食文化の交流や小旅行、各種レクリエーションなどを企画・開催してきました。昨年度は、市の協働提案事業に

応募し、八カ国十二人の新庄最上地域在住の外国人の協力を得て、それぞれの代表的な母国料理とそのレシピを紹介したカレンダー「2008 すまいるおいしいカレンダー」を発行しました。

今年度は、カレンダーで母国料理を紹介してくれた人たちを講師にむかえ、実際に料理教室を開催し、地域の人たちが外国の料理を学びながら国際交流できる場を提供しています。

これからも、NPO団体やボランティアグループ、行政など関係機関と連携しながら国際交流や国際理解を推進する活動を続けていきます。

◎国際交流ボランティアグループ「すまいる」事務局・菅野 ☎090-6689-8447

いきいき  
企業

アヒコファイブテック  
株式会社  
(高壇)



当社は、鮭川村にあった有限会社アヒコ光学(平成十五年閉鎖)より分離・独立し、ガラス研磨に必要な良質な地下水を求め昭和六十一年四月に最上川酒造さんの北隣に工場を建て創業しました。

主な製品は、ビデオカメラやデジタルカメラに組み込まれる精密な平面ガラスで、研磨や真空蒸着などの加工をほどこし、大手電気メーカーやカメラ関連のメーカーなどに納めています。

経営方針を「私たちは、常に社会に必要な集団であり続けるため」にできる。必ずできる」の精神で、技術を磨き合い、知恵を出し合い、信頼し合い、互いの幸福を目指し行動する」とし、社会に貢献できる企業を目指しています。

また、環境問題が厳しくなるなか、平成十五年にISO14001を取得し、産業廃棄物を極力排出しない、循環型の工場にすべく努力を重ねています。

# 聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲第19回かもしかお楽しみ会(11月24日/ゆめりあ)



▲むし歯サミット in 新庄での歯の長寿者表彰(11月8日/市民プラザ)



▲新庄吹奏楽団第25回定期演奏会(11月9日/市民文化会館)



▲第45回市民雪セミナー開催(11月16日/雪の里情報館)



▲最上地区読み聞かせサークル研修会として絵本作家・あべ弘士さんの講演会を開催(11月29日/市民プラザ)



▲第8回としょかんまつり(11月1日~2日/市立図書館)

## 親子で楽しく交通安全

新庄市かもしかクラブ連合会が、親子で楽しく交通安全を学んでもらおうと第19回かもしかおたのしみ会を開催しました。パリス保育園の子どもたちによる交通ルールを取り入れた歌や遊戯、白バイ展示、おにぎりづくり、親子ふれあいコーナーなど多彩な催しに、多くの親子が交通ルールや食育・子育てについて理解を深めました。

## いつまでもいい歯でいきいき

市では、80歳になっても自分の歯を20本以上保とうという「8020運動」を推進しています。今年の歯の長寿者表彰の受賞者は、島腹キヨエさん、加藤哲也さん、横山武由さん、中島弘さん、齊藤幸子さん、笹木アサ子さん、小笠原みよさん、加藤アキコさん、柿崎春雄さん、山科石夫さん、渡邊教男さん、監物政吉さん、山崎直さん、佐藤竹子さん、高山竹三郎さん、今田スズ子さん、泉光子さん、小関外男さん、佐藤昭三郎さん、井上トキさん、高桑喜英夫さん、横山榮子さん、國分外吉さん、相馬トキ子さん、斎藤ヨシエさん、佐藤妙子さん、工藤潤さん、笹原勘太郎さん、柏倉文彌さんです。

## 安全で快適な雪国生活を

「人身雪害-最近の動向と背景」と題して、東北工業大学建築学科・沼野夏生教授を講師に迎え、第45回市民雪セミナーを開催しました。沼野教授は、高齢者の雪下ろしや除雪作業中の事故防止策や、自治体の雪処理における高齢者支援の必要性などをわかりやすく説明してくれました。

## おはなしでてこ〜い!

子どもから大人までだれもが本に親んでもらおうと「第8回としょかんまつり」を開催しました。かやのみ会、新庄南高校図書委員による「おはなしでてこ〜い」やバルボンさんによる「絵本の病院」、本のリサイクルフェアや俳句展示など多彩な催しが行われ、多くの人が訪れ図書館を楽しみました。



## 栄光をたたえて

### ■第60回最上学童展

**特別賞【小学生／平面】**角川光喜(泉田)阿部拓也(泉田)海藤汐恩(日新)阿部吉起(沼田)阿部紗佳(沼田)佐藤新菜(升形)

**【小学生／立体】**青木桃香(昭和)大山響生(日新)

**【中学生／平面】**山科彩葉(日新)井上直道(明倫)井上優美子(明倫)

**奨励賞【小学生／平面】**阿部征也(泉田)笹友哉(泉田)芦野拳士(泉田)佐藤杏奈(泉田)高橋龍太(昭和)三宅貴大(新庄)石山敦智(新庄養護)佐藤綾音(新庄養護)松本優生(新庄養護)滝口智也(新庄養護)伊藤真優(日新)松田紳矢(日新)笹浩翔(沼田)田中颯太(沼田)八鍬あゆみ(沼田)早坂礼(萩野)小嶋ひより(萩野)叶内成人(升形)渡部 証人(升形)柳生茉奈(本合海)高橋麻里奈(本合海)

**【小学生／立体】**高橋昂汰(泉田)佐藤亜美(新庄養護)浅沼圭(日新)西村雄久(沼田)齋藤麗央(萩野)

**【中学生／平面】**鎌田美優(新庄)小林祐大(新庄養護)結城奈央(新庄養護)佐藤勇樹(日新)伊藤茉由(日新)大沼暢乃(日新)五十嵐理紗子(日新)中川樹(萩野)伊藤清十郎(萩野)新井里菜(明倫)

**【中学生／立体】**草刈建人(日新)森勇並(日新)伊藤秀(日新)佐藤達也(八向)

**佳作賞【小学生／平面】**荒川凌大(泉田)阿部理子(泉田)佐藤隼人(泉田)佐藤和佳(泉田)三浦美穂(泉田)中村峻(昭和)石井菜々子(昭和)高橋研人(昭和)水野遙果(新庄)宮林京平(新庄)加賀谷廣(新庄)松田亜莉沙(新庄)高橋一希(新庄)氏家裕斗(新庄)穀野夏奈子(新庄)田澤大(新庄)渋江章矢(新庄)田口里奈(新庄養護)青柳龍(新庄養護)佐藤貴子(新庄養護)高橋昇大(新庄養護)曾根田七海(日新)須田耕介(日新)涌井朗(日新)佐藤愛莉(日新)丸山裕菜(日新)岩浪ほのか(日新)青塚舞(日新)岸美里(日新)近野蒼(新庄)栗田竣恭(沼田)栗田寛斗(沼田)阿部愛海(沼田)星川夏葵(沼田)三條麗瑠津(沼田)有吉碧海(沼田)栗田春南(沼田)小野真由佳(沼田)庄司夏生(萩野)加藤慎吾(北辰)八鍬亜紀(升形)京野大地(本合海)



▲第46回市民音楽祭で昭和小学校の全校生が合唱を披露(11月3日／市民文化会館)



▲フラダンスサークル「カサブランカ」が新寿荘を慰問(11月20日／新寿荘)



▲第60回最上学童展開催(11月11日～20日／ゆめりあ)



▲第7回最上地域バイオマスフォーラム開催(11月26日／市民プラザ)

**【小学生／立体】**奥山廣介(泉田)井上朋香(新庄)藤原龍聖(日新)石山創紀(日新)小野瞳(日新)高山悟(沼田)早坂凌(萩野)小田島天(本合海)柳生梨乃(本合海)

**【中学生／平面】**早坂心大(新庄)大泉れいな(新庄)星川菜々美(新庄)古沢一朗(新庄養護)管緑(新庄養護)中川雄介(新庄養護)清野弘樹(新庄養護)山科凌(日新)佐藤綾乃(日新)佐々木まゆ(萩野)奥

山麻美(萩野)伊藤奏絵(明倫)高橋壮典(明倫)橋本愛香(明倫)矢口亜妃乃(明倫)斉藤翔平(八向)

**【中学生／立体】**柿崎世志樹(萩野)京野雅也(八向)

### ■総務大臣表彰

**【全国物価統計調査】**八鍬久美子(下西山)

# ら・せ

イベントや行政案内など  
まちの情報を紹介するページです

## 新春神楽

～新庄・最上地域に伝わる「神楽の舞」～  
○21年1月4日(日)午前10時～11時30分  
○市民文化会館  
◎市民文化会館 ☎22-7029

### 農業委員会委員 選挙人名簿の申請

農業委員会委員選挙人名簿は、農家の方からの申請に基づき、毎年1月1日現在の選挙資格を調査し作成します。申請しないと、選挙人名簿に登載されず、選挙があっても投票できなくなります。該当する人は、必ず申請してください。

▼申請できる人 次のいずれかに該当する市内在住の成人  
①10アール以上の農地があり、耕作を営む農業経営者  
②①の農業経営者と同居の親族またはその配偶者で、年間60日以上耕作に従事する人  
▼申請方法 農業協力がいる地区 協力を通じて配布する申請書に記入し、協力員に提出(その他の地区) 農業委員会に提出

▼申請期限 1月9日(金)まで  
◎農業委員会事務局  
☎内線2556

### 市総体バレーボール競技 参加チーム募集

▼参加資格 市内在住または市内へ通勤・通学している人  
▼とき 12月20日(土)午前8時  
▼ところ 市体育館  
▼種目 一般(男・女)、中学女子、家庭婦人  
▼申し込み 12月15日(月)まで  
◎新庄地区バレーボール協会・青柳(新庄神室産業高校) ☎28-8775

### 「第33回ちびっこ探険学校 ヨロノ島」参加者募集

春休み国内交流事業  
ヨロノ島内の民宿で外国人小学生と一緒に生活し、野外活動などを通して交流します。  
▼対象 小学2年生～6年生  
▼期間 21年3月27日(金)～4月2日(木)

月2日(木)

▼ところ 鹿兒島県大島郡与論町  
▼参加費 13万2千円(山形駅出発)  
▼説明会 2月14日(土)午後3時30分～4時30分 / 仙台市青年文化センター  
▼申し込み 3月6日(金)まで  
◎国際青少年研修協会  
☎03-33509-8421

### 雇用・能力開発機構 離職者職業訓練3月生募集

▼対象 おおむね35歳以下の離職者  
▼募集科目 電気設備科・NC生産システム科(デュアルシステムコース)  
▼とき 21年3月3日(火)～8月26日(水)  
▼受講料 無料(テキスト代別途)  
▼定員 各科18人  
▼申し込み 2月10日(火)まで  
▼選考日 2月17日(火)

◎雇用・能力開発機構山形センター  
☎023-6866-2016

### 平成21年新庄市民新年祝賀行事

#### 新世紀を翔ける 新春市民の集い

～新年の夢を語り、飛躍の年に～  
○とき 21年1月5日(月)午後3時～5時  
○ところ 市民プラザ大ホール  
○参加費 1人1,000円  
○申し込み 参加費を添え12月19日(金)まで  
◎詳しくは、総務課協働改革室へ。  
☎内線218

### 市民スキー場オープン!

○開場期間 12月27日(土)(予定)～21年3月1日(日)  
○開場時間 土・日・祝日・年末年始(12月27日～1月7日)は午前9時～午後9時、平日は正午～午後9時  
○無料開放日 12月27日(土)/オープン日、21年1月12日(月)/スキーの日、2月11日(水)/市総体スキー競技、3月1日(日)/最終日  
◎詳しくは、市民スキー場へ。☎25-3915

### 年末年始のごみ収集

12月31日(水)～1月2日(金)のごみ収集は休みになります。1月5日(月)からは通常収集します。缶・ペットボトルの収集日が毎月第1木曜日の町内会は1月5日(月)に出してください。  
◎詳しくは、環境課環境保全室へ。  
☎内線432

## 山形県最低賃金

県内の全労働者と使用者に適用されます。

**1時間 629円**

(平成20年10月30日から)

※特定の産業には産業別賃金が定められています。

◎詳しくは、新庄労働基準監督署へ。

☎22-0227

### 「国の教育ローン」のご案内

高校・大学などに入学している人のための公的制度です。  
▼融資額 学生一人につき200万円まで  
▼利率年2.65%  
▼融資期間 10年以内  
※所得要件などがあります。

◎日本政策金融公庫山形支店  
☎023-6421-1331

### 「ご存知ですか?」 「Sマーク」

標準営業約款制度は、消費者擁護のための制度です。厚生労働大臣の認可を受けた登録店(理・美容店、クリーニング店、めん類飲食店、一般飲食店)は、店頭「Sマーク」を掲げています。登録店は、安全、清潔で安心できるお店です。

◎県生活衛生営業指導センター  
☎023-623-4323

— 介護認定された方、障がい者の方限定の移送サービス —

## 介護100円タクシー

■介護保険内  
30分以内 運賃100円  
http://www.kaisei-company.com/ (予約制) ご不明な点はお気軽にお電話下さい。

■介護保険外(障がい者の方1割引)  
15分以内 運賃1,560円

カセイ介護タクシー  
TEL 0233-29-2912

予約受付中!

●2009新春初売福袋●

新 春

e. a. B (size80~140cm) 10,500円 (3万円相当)  
Daddy Oh Daddy (size80~130cm) 5,250円 (1万5千円相当)

初売日(1月2日)当日は、上記ブランド以外にもカココファイブブランド福袋がつけっさん店頭と並びます! Sh-Shu-Non、フリュイアン、スーリー、Ro、ミアメール、acoba、リトルベア...他イロイロ  
また、初売日当日はこらっせ新庄1階「しゃれおキッズ」でも一部ブランド福袋を販売する予定です! お見逃しなく!

※数に限りがございますので、お早めにご予約下さい。完全前金制になっております。ご了承下さい。お電話でのご予約も承っております。

ベビーショップミヤギ 新庄市大町3-38 ☎22-0664



年末金融特別相談会

～中小企業の相談に応じます～

○12月29日(月)～30日(火)午前9時～午後3時

○新庄商工会議所(市役所向い)

◎新庄商工会議所 ☎22-6855

# 12月の お・知

## 工業統計調査にご協力を

製造業の実態を明らかにするため、毎年12月31日現在で調査を実施しています。調査結果は、国などの施策の基礎資料や企業・大学などの研究資料として広く活用されます。

▼対象 製造業を主とする事業所 ▼調査方法 12月中旬に調査員が調査票を訪問配布して1月上旬に訪問回収します

【問】政策経営課情報統計室

☎内線 426

## 国民年金保険料の免除・猶予について

国民年金保険料の免除や猶予を受けると、その期間を納付した場合とくらべ年金受取額が下がります。免除などを受けてから10年以内であれば、保険料をさかのぼって納めるこ

とができます。該当期間がある人はご検討ください。ただし2年経過した分から加算金が加算されるため、実際に納める金額は古いものほど割増になります。

【問】新庄社会保険事務所

☎22-2050

## インフルエンザに注意しましょう

38℃以上の高熱や、頭痛、関節・筋肉痛、のどの痛みや咳・鼻水などの症状が出たら早めに受診しましょう。

【予防のポイント】①手洗いとうがい習慣に②十分な栄養と休養を③室内の乾燥に気をつけよう④流行期には人ごみを避けマスクを着用しよう⑤流行前(12月中旬)の予防接種が効果的です

【問】健康課健康推進室

☎内線 513

## 除雪機による事故を防ごう

毎年、冬になると除雪機による事故が多発しています。除雪機を使うときは次の点に十分に注意して安全に操作しましょう。

①除雪機の取扱説明書をよく読み、正しい使い方をしましょう

②雪詰まりを取り除くときは、必ずエンジンを停止し、完全に停止してから雪かき棒を使って行いましょう

③発進時は、転倒したり、挟まれたりしないよう足もとやまわりの障害物には十分注意しましょう

④雪を飛ばす方向に人や車、建物がないことを十分に確認しましょう

【問】都市整備課まちづくり計画・雪対策室

☎内線 526

## 取り壊した建物はありますか？

固定資産税の課税の基準日は1月1日です。

今年中に建物を新築・増築または取り壊した場合や、年内にその予定がある場合はご連絡ください。

【問】税務課資産税室

☎内線 144

## 山形県警からのお知らせ

山形県警察では、平成21年1月4日から運転免許証のICカード化を行います。

更新手続きをする際には、暗証番号(4桁の数字2組が必要)が必要になります。事前に暗証番号を決めてお越してください。

【問】県総合交通安全センター

☎023-655-2150

## 催しなど

### ぶらっと“オープンカフェ” ～クリスマスにほっと一息～

- とき 12月20日(土)午前10時～正午
- ところ 市民活動交流ひろばぶらっと
- 内容 まちづくりや市民活動についての情報交換やお茶を飲みながらの交流など

◎参加無料です。詳しくは、ぶらっと ☎23-6211、Eメール plat@ic-net.or.jp へ。

### 2008クリスマスイブイブ お楽しみ会

- とき 12月23日(火)午後1時～4時50分
- ところ ゆめりあ 花と緑の交流広場
- 内容 幼稚園児による踊り、新庄民踊りポンの会による唄・踊り、クイズ、ゲームなど

◎詳しくは、SL庫フェスティバル実行委員会(新庄観光協会内)へ。

☎22-2340

### 新庄神室産業高校吹奏楽部 —第6回定期演奏会—

- とき 12月27日(土)午後2時開演
- ところ 市民文化会館 大ホール
- 曲目 「オーメンズオブラブ」(和泉宏隆作曲・真島俊夫編曲)、朝鮮民謡の主題による変奏曲(J.B.チャンス作曲)、バレエ組曲など

◎入場無料です。詳しくは、神室産業高校へ。

☎28-8775

### 産直まゆの郷「年末みそか市」

- とき 12月28日(日)～30日(火) 午前9時30分～午後6時
- 内容 年末・正月用の農産物の販売 ※12月31日(水)～1月1日(木)は、午後4時で閉店します。

◎詳しくは、産直まゆの郷 ☎23-5007、農林課バイオマス推進室 ☎内線266 へ。

## 応援します！在宅介護

### ● 福祉用具レンタル事業

福祉用具を必要な期間お貸しするシステムです。経済的にご利用いただけます。

### ● 住宅改修事業

長年住み慣れた家で安心して生活していただけるように、身体状況に合わせて、バリアフリー仕様への改修の相談・施工を承ります。公的補助金(上限20万円)の申請等につきましてもアドバイス致します。

### ● 福祉用具販売事業

搬入時の設置や取扱い方法のご説明からメンテナンスなどにも迅速に対応致します。

### ● 患者搬送事業

車椅子やベッドのまま、病院の通院、入院、退院、養護福祉施設などへの移送、また、旅行などにも送迎いたします。お気軽にご相談ください。▲福祉タクシー利用券・重度身体障害者移送サービス事業もご利用いただけます。



### 株式会社 医療救急サービス

〒996-0026 新庄市大町2-26

フリーダイヤル ☎ 0120-64-1199

http://www.3ic-net.or.jp/~sheep/index.html

Zenjiro.

# 近岡善次郎画伯

## 寄贈絵画・II期展はじまる

新庄市名誉市民の洋画家近岡善次郎画伯の寄贈絵画・II期展がはじまりました。画伯が愛したふるさと新庄と肘折をテーマにした「雪のまちと肘折シリーズ」です。

- とき 21年3月29日(日)まで
  - ところ ふるさと歴史センター名誉市民特別記念室
  - 展示内容 雪のまち・肘折シリーズ全24作品
  - 入場料 大人300円、高校生100円、小中学生50円
  - 休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)
- ◎詳しくは、新庄ふるさと歴史センターへ。 ☎22-2188



▲雪ふり



▲みちのく湯宿



▲冬の新庄駅



▲新庄十字路



▲東北の冬(空蔵)



▲雪の夜肘折



▲冬の上原回教寺院



▲洋画家 近岡善次郎氏

郷土の歴史

ひとくち

新庄市史

②1最上家のお家騒動と

日野将監

最上地方が、天正九年(一五八一)以来、山形城主・最上義光の支配下に置かれたことは先に述べた。直接的には、最上地方の南部一帯は清水城(大蔵村)主・清水水氏に、北部は鮭延城(眞室川町)主・鮭延氏に、小国地方(最上町)は小国氏の支配下に置かれた。

義光は、初めは豊臣秀吉に従っていたが、彼が亡くなつてからは徳川家康に接近、慶長五年(一六〇〇)の天下分け目の戦いにおいて、大坂方の上杉氏と戦つたことも前に触れた。これにより、義光は家康から勲功として五十七万石の領地を与えられ、東北地方屈指の大大名となった。しかし、まだ天下は安定してないため、彼は長男・義康を家に置き、二男・家親を徳川秀忠に、三男・義親を豊臣秀頼にそれぞれ任せさせ、将来、徳川・豊臣どちらの時代になつても最上家が存続するよう企図した。やがて徳川家との縁を重視せざるを得なくなると、義光は長男を暗殺して二男を継がせ、三男には清水城を継がせた。

しかし、この異母兄弟の間に対立

～図書館はオアシス～

# BOOKS NOW!

## 今月のおすすめ

### 『語りの廻廊-聴き耳の五十年』

野村 敬子 著(真室川町出身)

「昔話を聴くという営みとは、何と  
いう幸せなことであったか。その  
方々の肖像を耳で描かさせていた  
だきながら、私はその五十年を振  
り返ってみる」(本書あとがきより)  
口承文芸研究の著者が昔話探話の旅先で出  
会った多くの語り手たちを丹念に紹介している。  
70歳を迎えた著者の渾身の作。



## ● 今月のテーマ展示 ●

### 「暖まる本」

新庄にもよいよ寒い冬が到来しました。寒い日  
には心も体もあたたまる読書をしてみませんか。ストーブで  
手を暖めるように、読書はハートをぽかぽかにしてくれ  
ます。ホットな本と出会える図書館へぜひお越しください。

## 新着児童図書

- ◆ ルウとリンデン旅とおるすばん…小手鞠のい
- ◆ はれかボチャールポルトガルのがばなし…エバ・メフト
- ◆ クリスマスのふしぎなはこ…長谷川摂子
- ◆ だからねずみくんのチョコッキ…なかえよしを
- ◆ ぼくらの先生! ……はやみねかおる
- ◆ ゆきだるまのあたま ……黒田かおる
- ◆ 中学時代にしておく50のこと…中谷彰宏
- ◆ 病気の魔女と薬の魔女…岡田晴恵
- ◆ にげだしたてじなのたね…田中友佳子

## 新着一般図書

- ◆ 謎手本忠臣蔵(上・下巻)…加藤 廣
- ◆ ちよいいな人々…荻原 浩
- ◆ 元職員 ……吉田修一
- ◆ ガリレオの苦悩 ……東野圭吾
- ◆ アイスクリン強し……畠中 恵
- ◆ ぐう〜の音 ……大田垣晴子
- ◆ 大丈夫だよ、がんばろう! 私も、乳がんと闘っています…山田邦子
- ◆ スリーピング・ドール…ジェフリー・ディーヴァー
- ◆ おいしい漬けものと手作りみそ…村井りんご
- ◆ ふたりが遺したラブレター—親の家を片づけながら—…リディア・フレム
- ◆ 巨樹・巨木をたずねて…高橋 弘
- ◆ 書店員の恋 ……梅田みか
- ◆ いまなぜ白洲正子なのか…川村二郎
- ◆ 東京裁判を正しく読む…牛村 圭
- ◆ おやじのおやつ…田沢竜次
- ◆ ダメ犬だからおもしろい…ジョン・グローガン
- ◆ 杉浦日向子の江戸塾 特別編・杉浦日向子
- ◆ おひとりさまの「法律」…中澤まゆみ

- 開館時間  
午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日  
年末年始 12月29日(月)～1月3日(出)
- ◎ 市立図書館 ☎22-2189

蔵書検索



# 30年後の新庄まちづくり!

## 沼田小・山大エリアキャンパスもがみ連携事業



▲指首野川を探索(5月29日)



▲山尾市長に学ぶ会(6月19日)



▲まちの模型づくり(11月13日)



▲ゆめりあでの発表会(11月22日)

沼田小四年生七十九名は「三十  
年後の新庄をこんなまちにしたい」  
という夢を模型に表現し、十一月二  
十二日、ゆめりあで発表しました。  
この取り組みは、山形大学エリア  
キャンパスもがみとの連携して五月  
からスタートしました。指首野川の  
水質調査、山尾市長から学ぶ会な  
どを通して、子ども市長を中心とす

る子ども議会を開いてまちのイメ  
ジをつくり上げました。ゆめりあでの  
発表というゴールを目指し、一九月  
にわたる模型づくりを経て、三十年  
後の新庄の街並みの模型(三・六メ  
ートル四方)が完成しました。  
発表会では「自然と農業」「商店  
街と産業」「歴史と観光・雪」「福祉  
と市民生活」の四グループに分かれ

て、それぞれのグループごとに三十  
年後の新庄のまちづくりの夢を熱  
心に語りました。  
子ども市長は「自然豊かでお年寄  
りにも子どもにも体の不自由な人  
にも安全、安心な人の集まる楽しい  
まちを目指していきたい」と話し、  
その提言書を国分副市長に手渡し  
ました。(沼田小学校)

が起り、慶長十九年(一六一四)、  
義光の死後間もない十月、最上宗家  
の家親は清水城を急襲し、これを滅  
ぼした。この跡は蔵入地(直轄領)と  
して、家臣の日野将監を遣わし管理  
させたが、日野氏は清水城には入ら  
ず、後の新庄城となる地に居館(城)  
を構え、その前に五日町・十日町を  
作り、この地方の経営に当たった。こ  
れは、後の新庄城下町の基盤ともな  
り、また、新庄が最上地方の政治・  
経済・産業・文化の中心となるのは、  
実質的にこの時からと言えろ。  
なお、日野氏の支配は長くは続か  
なかった。最上家の重臣間の対立が  
高じ、元和八年(一六二二)、最上家  
は江戸幕府から改易(領地没収)を  
命じられ、日野・鮭延・小国氏の家  
臣たちも遠くに流された。

# ふるさと・新庄への思いを画布に

新庄市名誉市民近岡善次郎寄贈絵画シリーズより・その12

## 『東北の冬の夜』

(F 20号 / 油彩)



近岡善次郎画伯の描くこの絵画にも共通することだが、風景や人物、地域風土や伝説、民俗行事にしても、対象を鋭く克明にとらえる面と、画家として独自の造形美を示して描く面と、画面には常に両者が表れる。

一、〇〇〇点を描き残した全国各地の明治西洋館シリーズでも、一

点一点が貴重な建築記録であると同時に、素晴らしい感性のアートが水彩紙の上で見事に躍っている。

近岡作品に雪景色はつきものだが、これもふるさと新庄を描いたもの。馬喰町(大町)の通りが懐かしく描写されているが、氏の描く冬の情景はとても温かく、まちを歩き交う人々の息づかいまでもが聞こえてくるようだ。

だれよりも新庄を愛し続けた画伯。人々の衣服も実にカラフルで、屋根に積もった雪も通りに降りしきる雪も、みんなをあつたかく包みこんでいる。

※本シリーズは今回が最終です。1年間、ありがとうございました。

## 市長 コラム

## 来年は、市制施行60周年!

新庄市は、戦後間もない昭和二十四年四月一日に新庄町から新庄市になり、来年が市制施行六十周年で、いわゆる還暦を迎えます。

昭和三十年に八向村と合併して、現状の新庄市となりました。当時、人口は三八、六〇三人で、昭和三十五年には市の最高人口四三、五五〇人を記録し、昭和四十五年四二、二二〇人、平成二年四三、二二五人、平成十二年四二、一五一人、平成十七年四〇、七七一人で、平成二十年四月一日現在は三九、八四二人となっています。

最上郡内すべて人口減少が続いています。新庄市の場合、大学進学や就職、転勤などで三月末の転出が一番多いですが、それだけでもないようです。その辺の分析をきちんとしながら、今後の施策に反映させなければなりません。

時代の大きな転換期に六十周年を迎える今、新庄市が進むべき新たな振興計画の策定に入っています。過去の施策の評価と成果を確認し、行政と市民が課題を共有し合うことが大切です。

六十周年記念行事は、多くの市民と一緒に、創意と工夫に満ちあふれた創造的なものになるようにしたいと考えています。

## 10月末現在の新庄人

39,759人 (40,110人)	
女	20,751人 (20,907人)
男	19,008人 (19,203人)
世帯数	13,501世帯 (13,478世帯)

### 10月の異動

出生	24人 ( 26人)
死亡	40人 ( 35人)
転入	87人 ( 76人)
転出	115人 ( 91人)

※( )は1年前の住民基本台帳

## 紙の真実

## つみ木でお家を作ったよ!

～冬をたのしむママと子のおうち講座～



雪深い新庄の冬を親子で楽しく過ごしたいと、新庄ベンチャークラブが「冬をたのしむママと子のおうち講座・積み木ワークショップ」を開催しました。参加した親子は、積み木の温もりを感じながら、さまざまな形をした積み木やビーズで、思い思いの家を作って遊んでいました。